

④ 第4委員会

「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」



それでは、第4委員会の意見を発表します。

わたしたち第4委員会では、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」について考えました。そのために、^{ちようさ}実地調査として7月20日に農業センターの^{げんちしさつ}現地視察へ行きました。

農業センターでは、名古屋コーチンのひよこことのふれ合いをしたり、牛の^{ちち}乳しぼり、ピーマンの^{しゆうかく}収穫などの体験をしました。そして、^{じっさい}実際に農業センターで取れた^{ぎゆうにゆう}牛乳を飲んだり、^{ぎゆうにゆう}牛乳やトウモロコシで作られたジェラートや名古屋コーチンの^{たまご}卵で作られたクッキーを試食しました。農業センターでは、わたしたちの命を支える^{ささ}動植物をたくさん見ることができました。この光景を未来の名古屋にも残していきたいです。

その後、わたしたちは、^{げんちしさつ}現地視察をして感じたことや考えたことをもとに、名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするためには何をすればいいのか考えました。

それでは、わたしたちが考えたことを1人ずつ順番に発表します。

○子ども議員 わたしは、農業センターに行き、たくさんのことを感じました。農業センターについて、特に印象に残ったのは、一つにまとめ、動植物をととても大切にしているということです。当り前としか思えませんが、ひよこをこわがらせないように持ち方を教えてくださったり、牛をおどろかさな^{ちち}いよう乳のしぼり方を親切に教えてくださいました。その日は雨でしたが、みんな生き生きとしているように見えました。

わたしは、名古屋がこのように動植物がたくさんで生き生きとしたまちにしたいです。農業センターに行き、次の世代も安心して安全な、そして幸せに暮^くらせる名古屋市にしたいと心から思いました。

○子ども議員 ぼくは、堀川^{ほりかわ}を市民のいこいの場にして、自然を体で感じてもらいたいです。堀川^{ほりかわ}を「都会のオアシス」を目標にして、きれいな川にしたいです。そのためには、堀川^{ほりかわ}にテラスをつくり、風がふきぬけるさわやかな心地よい川にして、人々のふれ合いの場をつくり、にぎやかに、そして自然がある川にしたいです。あと、古い橋や古い建物を保^{ほぞん}存して次の世代に伝えたいです。

○子ども議員 わたしは、農業センターでやった牛の乳ちちしぼりや野菜の収穫しゅうかくは、ふだん経験けいけんできないことだったので、とてもしんせんでわくわくしました。わたしは、家でもプランターで、農業センターでとったピーマンのようにおいしい野菜を育ててみたいと思いました。

また、わたしの通う小学校では、毎年5年生が地域ちいきの方の協力で、もち米の田植え、いねかり、そして、その後、もちつきをして、全校生徒で食べます。それは、それまでで一番おいしいおもちでした。わたしは、こうした体験学習をもっと多くの小学生が学校や地域ちいきで体験できれば、動物や植物を育てるための環境かんきょうについて必ず関心を持つようになると思いました。そうすれば、大人になってからもずっと自然を大切にすまちづくりができると思います。

○子ども議員 わたしは、農業センターに行って、このような自然や生き物がいっぱいあるところがふえれば、みんな自然や生き物きょうみに興味を持ち、好きになると思いました。ですから、農業センターのような場所をふやせばいいと思います。

そのために、ごみ拾い、木などを植える活動、おだに自然をはかいしないなどの動植物を保護ほごするような活動をすると思います。そうすることで、名古屋に生き物たちが集まってきて、生き物や自然がたくさんあるととてもバランスのとれたまちになります。そして、自然と人々の笑顔もふえ、命を大切にす人がふえると思います。そうなれば、人々の心も温かく、自然いっぱいな生き物がたくさんいるよいまちになると思います。

○子ども議員 ぼくは、自然に親しむためには、いろいろな活動をする
ことです。例えば、子どもたちといっしょに野鳥や虫を観察すること
や、花で輪をつくったり、花の種類を教えてあげることです。

次に、生き物を大事にするためには、まず、ごみを減らすことです。
空きかんやペットボトル、特にたばこの吸いがらなどが道ばたや道路
沿いに多いです。人としても、ごみをポイ捨てしているところを見る
と不ゆかいになります。さらに、動物、植物にも悪いことです。

こうした動植物の観察やごみを減らすことで、名古屋が自然に親し
み、生き物を大事にするまちづくりに近づくとと思います。

○子ども議員 ぼくは、名古屋を都市としてだけでなく自然と共存す
るまちにしていきたいとと思います。

第4委員会として、農業センターへ行き、さまざまな自然のめぐみ
やふれ合いを感じられる場所をつくっていきたくて思いました。その
ために、学校に木をもっと植えたり、ビオトープをつくったりして、
山里を思いうかばせるような一角をつくるといいと思います。自分が
大人になるころには、学校で自然を守る係ができ、
ビオトープや木の管理をしていったら、こん虫や動物も集まってくる
す。そういった環境が身近にあると、生き物の大切さを知ることがで
き、自然に親しみ、生き物を大事にするまちになるとと思います。

○子ども議員 農業センターで、生き物や植物から食べ物をもらっているということを強く感じました。生き物は、かわいがるだけではなく、人間が生きていくために大切にしなければいけないものだと思います。

わたしが以前参加した^{ふじまえひがた}藤前干潟クリーン作戦では、たくさんのペットボトルやビニールぶくろ、発泡スチロールなどのごみを拾うことができました。海にすむ生き物を大切にするために、まちや海をきれいにしなければいけないと思いました。一番よいことは、ごみをなくすことですが、それは^{むずか}難しいと思います。なので、このような活動を定期的に行えば、名古屋がきれいなまちになり、生き物を大切にするにつながると思います。

○子ども議員 わたしは、名古屋市農業センターで名古屋コーチンのひよこのふれ合いをさせてもらい、改めて命の大切さを知りました。

きれいな植物があれば、その植物にふれたりできるし、花のみつを求めてくる生き物たちがいると思うから、まちの公園などにきれいな植物を植えてくれたり、その植物を生き物たちのことをのせたけいじ板をつくり、その公園などに置いてくれるような活動をする〇〇ボランティアをつくればいいと思います。そうすれば、そのことをよく知れるし、大事にすることもできると思うからです。大事にするということは、好きになるということにつながるので、笑顔もふえると思います。

それと、農業センターのようなところをもっといろんなところにつくればいいと思います。そうすれば、全国の人が命の大切さをより深く知れると思うからです。なので、そのような活動をして、名古屋が自然に親しみ、生き物を大切にするまちに近づくようにしたいです。

○子ども議員 わたしは、「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」にするためには、公園や道沿いにペゴニアなどのきれいな花を植えたり、農業センターのような動物とふれ合える場所を名古屋市内にももっとつくればいいと思います。なぜなら、ペゴニアなどのきれいな花がまちじゅうに植えてあると、人々もみんな笑顔になると思うし、動物たちとふれ合える場所をもっとたくさんつくれば、たくさんの人たちが動物とふれ合い、動物たちのことをもっと大切にして、にぎやかで自然あふれるまちになると思うからです。

○子ども議員 わたしたちは、農業センターへ行きました。「自然に親しみ、生き物を大事にするまちづくり」について考えていくときの参考にするためです。そこでは、たくさん牛やにわとりがおり、さらに春のしだれ梅は20万人も集まるほど見事だと聞きました。そして、自然と限りなく近づくことができました。動物たちのめぐみから、ジェラートや牛乳ぎゅうにゅうなどをつくっていました。それは自然な味で、とてもおいしかったです。

生き物を大事にするまちづくりでは、わたしたちはたくさん動物たちに生かされているということを感じたので、それをポスターなどで呼びかけて、名古屋市じゅうに広めていきたいです。

○子ども議員 わたしは、農業センターに行きました。ひよこをさわったり、牛の乳^{ちち}しぼりを体験しました。そのとき感じたことは、ひよこが温かくふわふわしていて命のしん動が手に伝わってきました。そうして思ったことは、命のとうとさやありがたさを改めて知りました。そうして、もっとたくさんの人にこの体験をしてほしいと思いました。なので、農業センターをふやし、農業センターでさいばいしている野菜^{ぎょうにゆう}や牛乳^{ちち}などをもっとアピールし、自然とふれ合う人をもっとふやせたらいいと思います。

○子ども議員 わたしは、農業センターで動物や農業がわたしたちの食生活^{ささ}を支えていることを改めて感じました。しかし、わたしたちは生き物のすみかをうばいつつあります。そこで、わたしが考えた二つの案を説明します。

一つ目は、自然や動物たちとふれ合える公園をつくり、ホテルをふやすという案です。ホテルは水がきれいなところしかすめないで、名古屋がきれいになることにもつながります。

二つ目は、ビルを建てる^へところを減らし、田畑を多くするという案です。名古屋は食料自給率^{りつ}が低いとうかがいました。地産地消^{ちさんちしょう}をして、農業が発展^{はってん}する^へといいと思います。自然に親しみ、生き物にやさしくすると、みんなが温かい心を持ち、動物虐待^{ぎゃくたい}やいじめも減ると^へ思います。名古屋が笑顔あふれるまちになってほしいです。

○子ども議員 ぼくは、農業センターに現地視察げんちしさつに行きました。あいにく雨が降ふっていましたが、その中で、ペゴニアなどきれいな花が一生けん命雨に負けないようにあざやかな色を出し続けていました。そのおかげで、ぼくは現地視察げんちしさつをがんばれました。これがもっとふえたら、みんなが毎日気持ちよく過すごせると思います。

道路に近所の人々が花などを植えてもよい場所をつくって、花を植える週間をつくったりすれば、このような効果こうかが生まれます。アスファルトの黒だけでなく、花のカラフルな色がまちにあふれる。近所の人との会話がふえる。ぼくはそんなまちになってほしいです。

わたしたち第4委員会は、このようなことが名古屋を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にするために必要だと考えました。

これで、第4委員会の発表を終わります。

にしかわ

■西川土木交通委員長の答弁

みなさん、本当にご苦労さまでございました。うまくできましたかね。本当にすばらしい発表であったと思います。

わたしたち第4委員会では、名古屋市を「自然に親しみ、生き物を大事にするまち」にしていくためには何をしていけばいいのかについて、農業センターの現地視察げんちしさつや委員会での議論ぎろんを通して、みなさんに考えてもらいました。

農業センターでの現地視察げんちしさつでは、ひよこを手のひらにやさしく乗せて、そして包みこおことで、



小さくても温かい命のぬくもりというものを感じてもらったり、たくさん
の生き物とふれ合ったり、野菜を収穫したりと、みなさん本当に、
じゃっかん 若干の雨は降っていましたが、生き生きと楽しそうに充実した
しきつ 視察をすることができたと思っております。

わたしは、その様子を見させていただきながら、やっぱりそうしたこと
と、自然に親しんだり生き物に接したり、そして命の大切さを理解して
いくことが、この大好きな名古屋を笑顔にあふれるまちづくりにしてい
くためにとても大切なことであると改めて実感をさせてもらいました。

先ほどの意見発表の中でも、農業センターでふれ合ったさまざまな動
植物がわたしたちの命を支えているといったことや、未来の名古屋にも
動植物があふれる光景を残していきたいといった意見が発表されると
ともに、ごみを減らす、植物を植えるなど、自然を残していくためのボ
ランティア活動をする、もっと人々が自然に親しむことができる場所を
つくるなどといった積極的な提案がたくさん出されてまいりました。み
なさん、本当にそれぞれによく考えて、すばらしい意見発表をしてくれ
たと思っております。

今回、わたしも大人の立場からでも、はっとするようすばらしいす
るどい意見があったり、場面があったり、本当にみなさんとともに自然
や生き物について考えた、この4日間という時間ではありましたが、本
当にとっても有意義なものでありました。命を大切にすること、そ
して自然を大切にすること、今回の現地視察のような体験をす
ることにより、たくさんの人々に実感してもらい、みなさんの温かい心
で温かいまちづくりにつなげていってもらえると、すばらしいまち名古
屋へとつながっていくと思います。

本当に短い期間ではありましたが、みなさんのやさしい心が本当にい
っぱいあふれた充実した委員会であったと思っております。どうかこれからも
みなさんの経験を生かしてもらい、温かい心をまたみなさんのより多く
のたくさんの友達へと広めていただき、そうしたことによって、よりよ
いまちづくりへのご協力をお願いするものでございます。

本当によくがんばりました。おつかれさまでした。ありがとうございました。